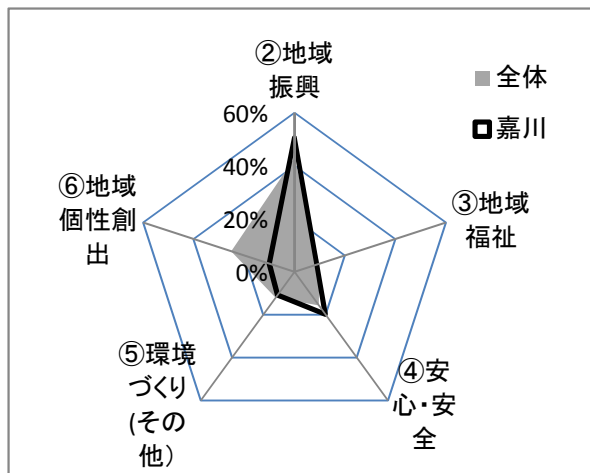


嘉川自治連合会 地域づくり交付金事業概要(平成26年度)

■ 地域の情報

地域人口	6,581人	自治会数	39
世帯数	2,556世帯	自治会加入率	86.03%

※数値は、平成27年4月1日のもの



■ 決算状況

交付金配分枠	12,677,000 円
交付金決算額	12,552,393 円
その他収入	1,025,168 円
交付金決算額／配分額	99.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,397,000 円
②地域振興	2,083,341 円
③地域福祉	365,629 円
④安心・安全	816,482 円
⑤環境づくり(土木工事)	5,057,000 円
⑤環境づくり(その他)	446,320 円
⑥地域個性創出	411,789 円
決算総額	13,577,561 円

■ 地域づくりの活動方針(テーマ)

調和の取れた地域の発展と住みよい嘉川の創出、並びに文化教養の向上による地域づくりの推進

■ 総括

今年度は5箇年計画の最終年度であり、26の事業計画を立てて取り組みました。役員の努力、地域住民の協力もあって各事業の目的はおおむね達成することができました。とりわけ、郷土学習と遺跡・史跡の顕彰事業の終了と嘉川防災訓練を初めて実施できたことは強い自信となりました。

■ 分野別事業名

① 協議会運営	事務局長及び事務局員給与・事務費
② 地域振興	地域づくり協議会広報、あいさつ運動の推進、郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備、食生活改善と推進、登山コース、ハイキングコースの標示と整備、盆踊り
③ 地域福祉	見守りグループ活動、生き生きサロン活動の充実、子育て支援組織活動と支援、高齢者活動の推進、生涯スポーツの推進、ボランティア活動の研修と推進
④ 安心・安全	反射鏡設置事業、高齢者ドライバー1日ドック、児童・生徒下校時の安全確保、地域防災活動
⑤ 環境づくり	土木工事、道路・河川・海岸の清掃活動、地域環境美化活動の推進、花いっぱい運動の推進、桜公園の建設推進
⑥ 地域個性創出	子どもと高齢者の世代間交流事業の推進、子どもと高齢者世代間交流による昔話の伝承、地域産品・交流創出事業、古記録・古行事・古写真の収集並びに編集

■重点的に取り組んだ事業

	事業名	地域防災活動	決算額	526,322円
	目的	地域防災活動の推進を図る		
	実施内容	1 山口県の平成26年度「地域コミュニティ防災活動推進事業」のモデル事業実施地域(県下2箇所)として嘉川地域が選定され、事業を実施しました。		
	実施時期	①主な調整会議 ・事業説明会(県、市、自治連役員) 平成26年10月27日 ・事業実施協議会 2号委員関係者 平成26年12月3日 ・訓練実行本部員協議 平成26年12月12日 ・事業実施協議会 1号委員関係者 平成26年12月20日 ・防災避難訓練事前演習協議 関係者 平成27年1月23日 ②防災避難訓練の実施 平成27年2月11日 396人 ③防災避難訓練検証会議 平成27年3月3日 ④モデル事業報告会(県主催) 平成27年3月21日 ⑤川西中学校 図上DIG訓練 平成26年12月17日 200人		
①	参加人数	2 防災用真砂土置場、海拔表示板、テント等防災資機材の整備を行いました。		
	成果	嘉川地域全体の行政、諸団体が一体となった地域コミュニティ防災組織(仮称・嘉川防災会)を結成することができ、避難初動訓練、避難所の開設、避難訓練ができました。		
	評価	地域住民の防災意識向上と自治会の自主防災組織設置への機運が高まりました。		
	今後に向けて	避難訓練や防災組織の運営、管理を行い、さらに改良、適正化を図り定着させたいと思います。 また、これを機に自治会の自主防災組織設置を誘導したいと考えます。		
	事業名	郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備	決算額	1,430,292円
	目的	嘉川地域内に存在する遺跡・史跡の顕彰と整備		
	実施内容	平成22年度から実施した地域内の遺跡・史跡の発掘整備も5年目の最終年度事業となりました。又、前年度までに現地の標柱建植と地図を地区住民や有職者支援で実施できました。今年度は、遺跡史跡の説明文と携わった活動記録を冊子にまとめ、地域や家族で永く語り継がれるよう各戸配布とし、当初計画に沿って完成することができました。		
	実施時期	6月から編集会議を重ね、様式や記載内容を審議し、有職者へ寄稿文の依頼や写真撮影に当たりました。 10月から校正作業を行い1月に校了となりました。		
②	参加人数	編集会議 8回 延べ72人		
	成果	現地確認や文書校正作業に多くの手間を要したが、多くの方の意見により完成することができました。 マップ追加印刷 300部 、冊子印刷 3,500部		
	評価	嘉川の歴史に興味を持ち、冊子片手に身近に存在する遺跡・史跡に触れて観て、語り合って巡ることができるようになりました。また、標柱周辺的环境美化にも貢献できたと考えます。		
	今後に向けて	遺跡・史跡周辺の雑草、木の刈り取り伐採および木柱腐食防水処理を実施していきます。		
	事業名	地域産品・交流創出事業	決算額	346,789円

目的	地域内産物の利用促進及び地域内産物を利用した特色ある名物を創出します。地域内外の交流を進めるとともに、特産品、自然遺産等を広めます。
実施内容	1 里山の遊休地を利用した「ふれあい交流広場」づくりに取り組みました。 2 「嘉川でできた米を使って、オリジナルのお酒を造る。」を目指し、地域の大人も子供も一緒になって酒米に関連するイベントを行いました。また、新聞、テレビ取材、チラシ等で地域内外に広報しました。新酒が出来上がり、2月には新酒発表会も開催しました。
実施時期	1 広場づくり 10人
参加人数	2 スケジュール策定会議 5月24日 25人参加 田植え 6月15日 89人参加、 稲刈り 荒天中止(10月12日) 新酒発表会 平成26年2月28日 20人参加
成果	里山に地域住民の新しい交流の場をつくることができました。地域産品としての酒(嘉穂の郷)は昨年に続き本年度も醸造できました。今年は新たに大吟醸が誕生しました。また、大人も子供も田植えや稲刈りの体験ができ、地域住民の交流の場となりました。
評価	地域内交流を進めるための新しい場所はできましたが、事業として始まったばかりであり、現在では交流の機会が少ない状況です。地域産品として創出した酒「嘉穂の郷」も次第に地域に浸透しつつあります。また、一連の行事が恒例のイベントとして定着してきました。
今後に向けて	地域住民が交流する場や機会を増やしていきたいと思えます。

③